

2021年1月28日 社長会見要旨

【会見要旨】

会見に先立ちまして、電力需給について一言申し上げます。

寒波などの影響により、昨年末から全国的に電力需給がひっ迫し、ほくでんグループとしても、安定供給維持に向けた最大限の協力を行ってまいりました。北海道の皆さまにおかれましては、日常生活に支障のない範囲で、電気を効率的にご使用いただいておりますことにお礼申し上げます。

北海道エリアは、現時点において、電力の安定供給に必要な供給力を確保しておりますが、これからも冬の寒さは続きます。引き続き、電力の安定供給に向けて、緊張感をもって、適切な設備保全・燃料調達に努めてまいります。

それでは、本日は、「2020年度第3四半期決算」、「ほくでんガスの暖房給湯向け新料金プラン」、「KDDI株式会社との業務提携」および「再生可能エネルギーを活用した新たな電気料金プラン」などについてお話しいたします。

【2020年度第3四半期決算】

はじめに、「2020年度第3四半期決算」について、お手元の決算資料に沿ってご説明いたします。

2ページの上段「経営成績」の表をご覧ください。

売上高につきましては、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の影響による増加はありましたが、燃料価格の低下による燃料費調整制度の影響や新型コロナウイルス感染症の影響による販売電力量の減少などにより、前年同期に比べ145億円減少の5,105億円となりました。

経常利益につきましては、販売電力量の減少などはありましたが、発電設備に係る修繕費の減少や燃料調達や資機材調達の効率化などによる費用低減に取り組んだことにより、前年同期に比べ131億円増加の210億円となりました。

また、四半期純利益につきましては、経常利益の増加などにより、前年同期に比べ118億円増加の、177億円となりました。

続いて2ページ下段「財政状態」の表をご覧ください。

自己資本比率は前年度末に比べ、0.6ポイント改善し、12.6%となりました。

なお、8ページから14ページには、連結決算の収支比較表および販売電力量や供給電力量の実績などを記載しております。

また、16ページには当第3四半期の経常利益の変動要因をまとめておりますので後ほどご覧ください。

以上、2020年度第3四半期決算の概要をご説明いたしました。

《2020年度の業績見通し》

次に、2020年度の連結業績見通しについてご説明いたします。

4ページをご覧ください。

2020年度通期の連結業績につきましては、至近の収支動向を踏まえ、昨年10月28日に公表した業績予想を見直しました。

はじめに、表の下段に記載しております、2020年度通期の小売販売電力量についてです。昨年12月中旬以降の寒波の影響により暖房需要が増加したことや新型コロナウイルス感染症の影響について、足下の感染再拡大の懸念は1月以降も継続すると見込んでいますが、10月から12月までの産業用需要を中心とした回復実績を反映し、10月に公表した見通しに比べ、2億kWh増加の225億kWh程度となる見込みです。

続いて、売上高についてです。

ただ今、申し上げました小売販売電力量の増加に加え、北海道内の安定供給に万全を期した上で、全国的な需給状況のひっ迫に対し、当社として、最大限ご協力した結果、他社への販売電力量が増加したことなどにより、10月公表値から170億円増加の7,190億円程度となる見通しです。

また、経常利益につきましても、寒波に伴う小売販売電力量や他社への販売電力量の増加などにより、10月公表値から100億円増加の300億円程度となる見通しです。

記録的な寒波による全国的な電力需給のひっ迫という今冬における特殊事情もあり、10月にお示した業績予想からの大幅な上方修正となりました。

一方、前年度との比較では、寒波による利益の押し上げはありますが、新型コロナウイルス感染症の影響による悪化もあることから、表の右側に記載しておりますように、減収減益となる見通しです。

当社を取り巻く厳しい経営環境に変わりはなく、電力の安定供給という使命を果たすとともに、引き続き、経営基盤強化推進委員会での収入拡大・費用低減の取り組みを進めてまいりたいと考えております。

なお、17ページに、連結業績見通しにおける経常利益の対前年変動要因をまとめておりますので後ほどご覧ください。

《2020年度期末配当予想》

最後に、配当予想についてご説明いたします。

6ページをご覧ください。

2020年度の期末配当予想につきましては、前回公表値から変更はなく、普通株式は1株当たり5円、B種優先株式は定款の定めに従い1株当たり150万円の予定としております。

2020年度第3四半期決算の説明は以上となります。

【FF 暖房給湯向け新料金プラン、キャンペーン】

次に、資料 2 のパワーポイント 1 ページをご覧ください。

当社は、2 月 1 日より、FF 暖房給湯向けのガス料金プランのご提供を開始します。このプランは、多くのお客さまからのご要望にお応えするもので、ガス FF 暖房機をご利用されているお客さまにおススメのプランとなっております。

電気料金プランとセットでご契約いただくことで、毎月のご使用量にかかわらず、北海道ガス様の「FF 暖房給湯」プランよりもガス料金が 5%おトクになります。

2 ページをご覧ください。

資料に記載のとおり、電気とガスの契約を変更いただくと、年間で約 8,000 円相当おトクになります。

3 ページをご覧ください。

当社は、2 月 1 日から 3 月 31 日までの期間で、「FF 暖房給湯プラン 新登場！キャンペーン」を実施いたします。この期間に、「ほくでんガス」に新規お申込みをいただくと、抽選で、with コロナによる“おうち時間”をより快適・便利にお過ごしいただける人気家電をプレゼントいたします。

北海道はまだ寒い日が続きます。ご使用量が増えているこの時期に、ぜひ、「ほくでんガス」にご加入いただき、この冬を“おトクに”“暖かく”お過ごしいただきたいと思えます。

続けて、お手元の資料 3 をご覧ください。先ほど、ご紹介したキャンペーンに加え、お引越し先で、対象の電気料金プランをご契約いただくと、エネモポイントが、もれなく当たる「エネとくポイントプラン 引越トクとくキャンペーン」も同時に開催いたします。

このほかにも、資料 4 に記載のとおり、北海道エネルギー様との業務提携について、「ほくでんガス」をご契約いただいたお客さまに「エネとも会員」の特典をご用意することになりました。おトクが満載のこの機会に、ぜひ当社をお選びいただきますようお願いいたします。

【KDDI との業務提携】

次に、KDDI 株式会社との業務提携についてご説明いたします。

お手元の資料 5 をご覧ください。本日、当社は、KDDI 様と、ご家庭向けの電気とガス販売に関する業務提携契約を締結いたしました。

本提携により、2 月 17 日より、KDDI 様が、「au ショップ」をはじめとする販売チャネルを通じて、当社の電気・ガスの販売代理事業者として、「au でんき」と「ほくでんガス for au」の販売を開始いたします。ご提供プランの詳細につきましては、後ほど資料をご覧ください。

以上、電気やガスの販売に関して、4 点ご説明いたしました。

当社といたしましては、都市ガスや、ほくでんグループが持つ商材との組み合わせ、他業種とのアライアンスなどを活用し、新たな商品やサービスの充実を図るとともに、キャンペーンをはじめとする各種販売活動との相乗効果を最大限に高め、当社の電気とガスの販売拡大を図ってまいります。

【カーボンF プランプレミアムのご提供開始】

次に、再生可能エネルギーを活用した電気料金プランについてご説明いたします。

お手元の資料6をご覧ください。

今日、SDGs や ESG、RE100 など、環境経営に注目が集まっており、事業活動に再生可能エネルギーを積極的に活用する動きが広がっております。

こうした環境への取り組みに対応する電気料金プランとして、このたび、当社が所有する再生可能エネルギーを活用し、100%再エネ由来でCO₂ 排出量ゼロの電力をお届けする「カーボンF プランプレミアム」のご提供を開始いたします。

このプランにご加入いただくことで、再エネ電力の導入比率向上やお客さまが使用される電気のCO₂ 排出量をゼロにすることができます。環境経営を進める法人のお客さまニーズにお応えできるプランとなっておりますのでぜひご利用ください。

当社は、引き続き、脱炭素社会の実現に向けて、お客さまの様々なご要望にお応えする取り組みを進めてまいります。

【脱炭素社会実現に向けた取り組み】

脱炭素社会の実現に向けては、昨年10月に、菅首相が、2050年にカーボンニュートラルを目指すことを宣言いたしました。この宣言以降、エネルギー分野においては、大きなパラダイムシフトが起こっており、今年はその動きがさらに加速していくものと認識しています。

当社では、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みとして、供給サイドにおいては、泊発電所の早期再稼働に向けた取り組みや再生可能エネルギーの導入拡大を進めていくほか、水素・アンモニアの製造・活用など革新的新技術の開発・導入に向けた調査・研究を進めてまいります。

また、カーボンニュートラルの達成には需要側の取り組みも欠かせません。運輸部門や産業部門など様々な分野での電化拡大による脱炭素化の推進に貢献してまいります。

当社は、総合エネルギー企業として、脱炭素社会の実現に向け、あらゆる可能性を追求した取り組みをゼンリョクで進めてまいります。

私からは以上です。